



屋外・屋内での『マスクの着用』

長く続くコロナ禍の中、“徐々にノーマルに戻ろう”と、コロナ感染が“**緩やかに減少傾向**”を背景に、国や県では制限や規制の**緩和**が目立ち、初めてマスク着用**緩和**も打ち出されました。

しかしながら、**本学のキャンパス内では、感染は決して減少していません。5月はむしろ増加が大きくなっています。私たちの身の回りの現実を認識してください。**

全てが緩むことのないよう、緊張感と危機意識を持って、キャンパス内の「安全・安心」を心掛けましょう。

感染症対策はこれからも必要です。「マスク着用」は従来と同様、基本的な感染防止対策として重要です。一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。



以下、「マスク着用」に係る留意点です。一つひとつ確認してみてください。



★会話をする場面、周りの人が会話をしている場所などは「マスク着用」!

国や地方自治体から、マスク着用を必要とする場合が示されています。国等の指針では、**屋内**では、人との距離が2m以上離れている場合であっても、会話や発声がある場合、例えば“離れた席でおしゃべりする”場合は**「マスク着用」**です。

屋外でも、人との距離が2m以内で、会話、発声がある場合、例えば、繁華街や観光地の人混み、球技観戦などの場合は**「マスク着用」**です。

★キャンパス内は「原則、マスク着用」! ~場面に応じてマスクの着脱を~

本学では、感染事案が継続的に発生している、という実情を踏まえ、キャンパス内の建物の中では「原則、マスク着用」とお考えください。

日常生活においては、場面に応じて、「マスク着用」と「マスクなし」の使い分けが必要です。どのような場合でも対応できるよう**マスクは常に携行**しましょう。



★「コロナ感染対策」と「熱中症対策」の両立を!

気温、湿度や暑さ指数が高い夏場では、熱中症リスクが高まります。**「コロナ感染対策」と「熱中症対策」との両立が必要**です! 熱中症防止の観点から、**屋外でマスクの必要のない場面は、マスクを外すことを推奨**します。

特に運動部の活動においては、各競技団体が作成するガイドライン等を踏まえて、マスクを外す、等の適切な対応が重要です。ただし、**部室・更衣室、休憩・食事・集団での移動等の場面ではマスク着用を含め感染対策を徹底**してください。

★お年寄りに会う場合や公共交通機関を利用する場合は「マスク着用」!

高齢の方や基礎疾患のある方、又はそのような方と接する場合や病院へ行くときなどは**「マスク着用」**です。

通学、通勤の電車やバスの中では、会話を控えるのはマナー・エチケットです。ほとんど会話なしの状況であっても**「マスク着用」**でいきましょう。

